

# 市民の人権意識

## について

—令和2年度人権に関する市民意識調査報告書（概要版）—



長崎市人権イメージキャラクターヒマワリさん

## 『人権』という言葉からどのようなことをイメージしますか。

私たちは、『人権』と聞くと「難しくよく分からない」「自分にはあまり関係ない」と思いがちかもしれませんが、『人権』とは、人種や民族、性別などを超えて全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利です。そして、人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利でもあります。

人権が尊重される社会とは「誰もが幸せに暮らすことができる社会」です。このような社会をつくるために、私たち一人ひとりがお互いの「違い」を認め合うことが大切です。

互いの人権を尊重するためには、まず、「人権に関心を持つこと」「様々な人権問題について正しく知ること」「自分の中の差別意識や偏見に気づくこと」「他の人との違いを認めてともに歩むこと」などが必要です。

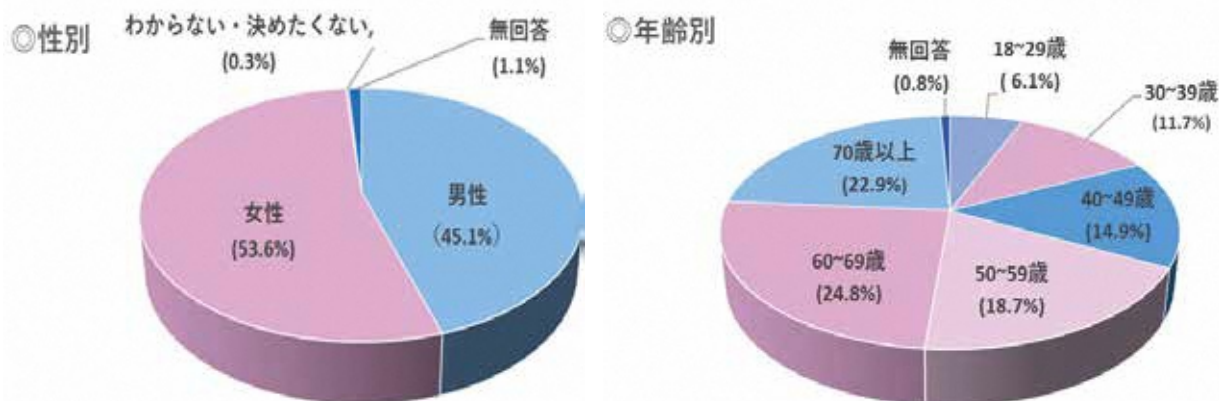
日々の生活の中で、人権について意識したり考えたりすることはどれくらいあるでしょうか。市民の皆様が人権についてどのように考えているのかを知るために令和2年度にアンケート調査を実施しました。この調査結果が、皆様の人権について考えるきっかけになることを願っています。

### ■ 市民意識調査の実施について

ここに掲載しているグラフデータ等は、長崎県が令和2年9月に実施した「人権に関する県民意識調査」から長崎市民に関する調査結果を長崎市が集計、分析したものです。

- 調査対象者 住民基本台帳から無作為に抽出した県内に居住する満18歳以上の男女3,000人の調査対象者のうち長崎市分766人
- 調査期間 令和2年9月11日～令和2年11月6日
- 回収状況 調査票到達数 760人に対し有効回答数 375人（有効回収率 49.3%）

### ■ 回答者の状況

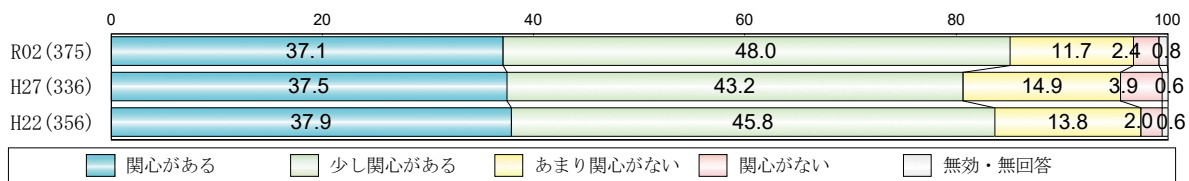


### ■ 調査結果のグラフについて

○R2は令和2年度調査、H27は平成27年度調査、H22は平成22年度調査を示します。  
○R2（ ）などの（ ）内の数字は、回答票数を示します。

# 1 人権全般について

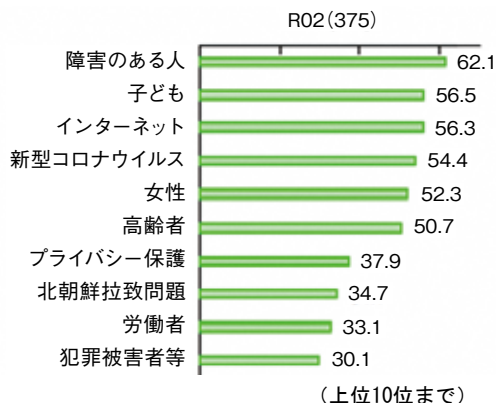
問1 あなたは「人権」に関心がありますか。あなたのお考えに一番近いものを選んでください。  
(回答は1つ)



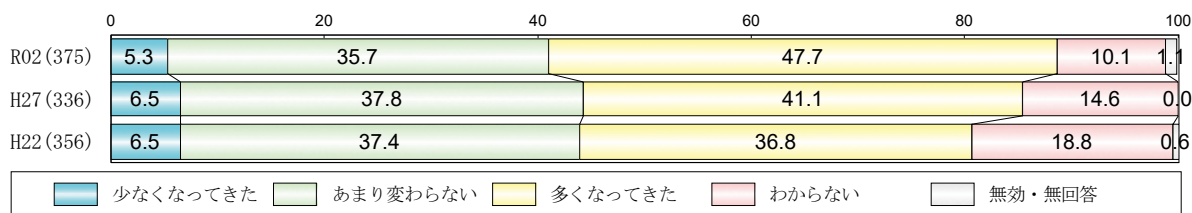
「関心がある」と「少し関心がある」を合計した人権に関心が「ある」人の割合は85.1%で、前回(80.7%)より4ポイント高く、前々回(83.7%)よりやや高い。逆に、「あまり関心がない」と「関心がない」を合計した「ない」は14.1%で、前回(18.8%)より4ポイント、前々回(15.8%)より2ポイント低くなっている。

問2 日本の社会には、人権に関わるいろいろな問題がありますが、あなたが関心のあるもの、重要と思われるものはどれですか。  
(回答はいくつでも)

19項目の人権問題の中では、「障害のある人」(62.1%)が60%を超えて最も高く、「子ども」(56.5%)、「インターネット」(56.3%)、「新型コロナウイルス」(54.4%)と続き、「女性」(52.3%)、「高齢者」(50.7%)も50%を超えている。

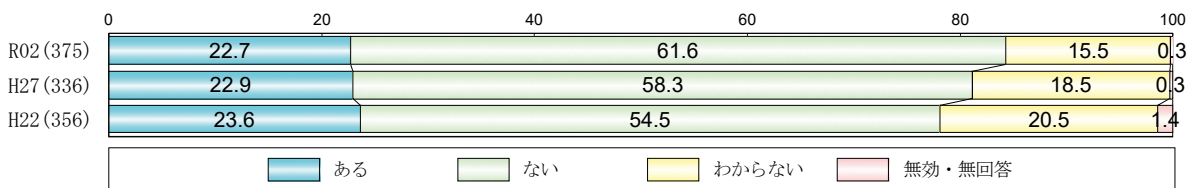


問3 新聞やテレビなどで「人権問題が起きている」、「人権が侵害された」というニュースが報道されることがあります。あなたは、人権侵害は、この5～6年の間にどのようになってきたと思いますか。(回答は1つ)



「多くなってきた」(47.7%)が最も高く、2位の「あまり変わらない」(35.7%)より12ポイント高い。「多くなってきた」は、前々回より11ポイント、前回より7ポイント高くなっている。「わからない」(10.1%)は、前々回より9ポイント、前回より5ポイント低くなっている。

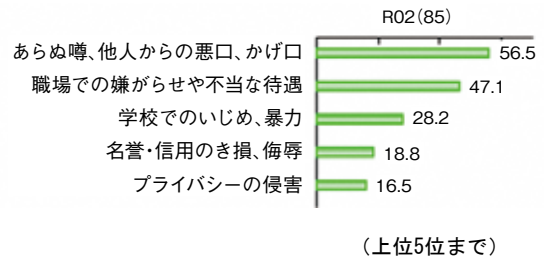
問4-1 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(回答は1つ)



「ある」と答えた人の割合が22.7%、「ない」が61.6%、「わからない」が15.5%であり、2割以上の人が「ある」と答えている。「ない」が前々回より7ポイント、前回より3ポイント高くなっており、「わからない」が前々回、前回より減少している。

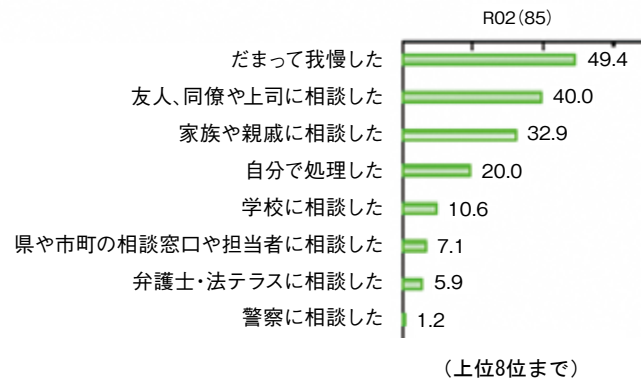
**問4-2(1) それは、どのようなものでしたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(回答はいくつでも)**

11 項目の人権侵害の内容のうち、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が56.5%で最も高く、次いで、「職場での嫌がらせや不当な待遇」(47.1%)、「学校でのいじめ、暴力」(28.2%)、「名誉・信用のき損、侮辱」(18.8%)、「プライバシーの侵害」(16.5%)の順になっている。



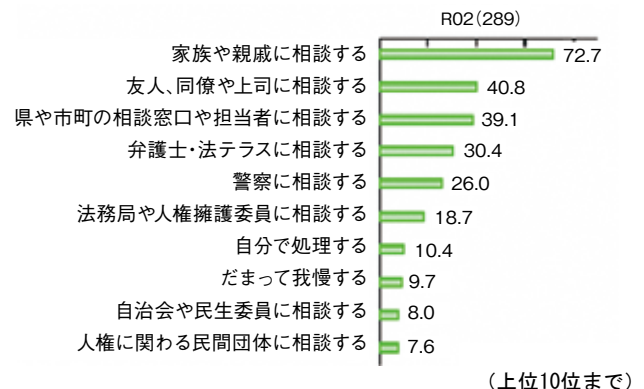
**問4-2(2) そのとき、あなたはどうかされましたか。(回答はいくつでも)**

12 項目の対処の内容のうち、「だまって我慢した」と答えた人が49.4%で最も多く、次いで、「友人、同僚や上司に相談した」(40.0%)、「家族や親戚に相談した」(32.9%)と続いている。今回加えられた「学校に相談した」は10.6%であった。公的機関である「県や市町の相談窓口や担当者に相談した」「弁護士・法テラスに相談した」「警察に相談した」はそれぞれ7.1%、5.9%、1.2%であるが、「自治会や民生委員に相談した」「法務局や人権擁護委員に相談した」は0.0%である。

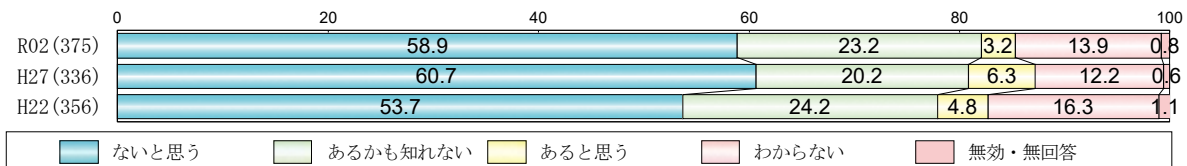


**問4-3 もしも、ご自分の人権が侵害され、自分だけでは解決できないと判断した場合、あなたはどのように対処しますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(回答はいくつでも)**

11 項目の対処の項目のうち、「家族や親戚に相談する」が72.7%と最も高く、次いで、「友人、同僚や上司に相談する」(40.8%)、「県や市町の相談窓口や担当者に相談する」(39.1%)、「弁護士・法テラスに相談する」(30.4%)、「警察に相談する」(26.0%)と続いている。



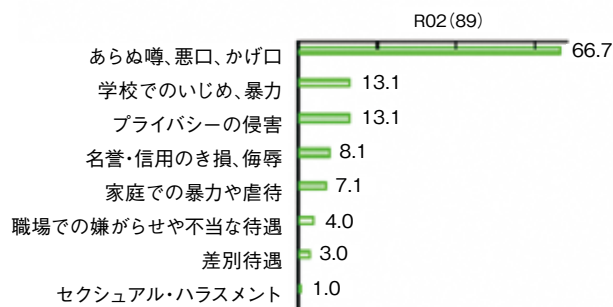
**問5-1 あなたは、今までに、他人の人権を侵害したことがありますか。(回答は1つ)**



「ないと思う」が58.9%と最も高く、「あると思う」は3.2%であった。「あるかも知れない」と「あると思う」を合わせると26.4%で、3分の1に満たない。前回と比較すると、「あると思う」が3ポイント、「ないと思う」が2ポイント低く、「あるかも知れない」が3ポイント、「わからない」が2ポイント高くなっている。

**問5-2 それは、どのようなものだったと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（回答はいくつでも）**

11項目の人権侵害をした内容のうち、「あらぬ噂、悪口、かげ口」が66.7%で最も高く、「学校でのいじめ、暴力」（13.1%）、「プライバシーの侵害」（13.1%）と続き、他は10%に満たない。



(上位8位まで)

**問6 あなたは、次にあげる女性や子ども、高齢者、障害のある人等の人権に関する法律について、どの程度ご存じですか。次の(1)から(18)のそれぞれについてお答えください。（回答は1つずつ）**

(単位：%)

	内容を知っている	聞いたことがある	知らない
(1) 「男女雇用機会均等法」	55.5	36.8	6.7
(2) 「男女共同参画社会基本法」	20.3	49.3	29.1
(3) 「DV防止法」	48.8	45.1	4.8
(4) 「ストーカー規制法」	52.5	42.7	4.0
(5) 「児童虐待防止法」	54.1	41.3	3.5
(6) 「いじめ防止対策推進法」	27.2	56.0	15.5
(7) 「子どもの貧困対策推進法」	13.9	53.3	30.9
(8) 「高齢者虐待防止法」	20.5	48.3	29.6
(9) 「障害者基本法」	14.7	50.1	33.1
(10) 「障害者差別解消法」	9.3	40.3	47.5
(11) 「障害者虐待防止法」	12.3	42.1	42.9
(12) 「ハンセン病問題基本法」	8.3	50.1	39.5
(13) 「犯罪被害者等基本法」	8.0	53.1	36.0
(14) 「性同一性障害特例法」	11.7	54.4	30.9
(15) 「個人情報保護法」	53.3	39.7	5.3
(16) 「人権教育・啓発推進法」	9.3	44.3	44.5
(17) 「ヘイトスピーチ解消法」	8.0	41.6	48.8
(18) 「部落差別解消推進法」	10.9	42.1	45.3

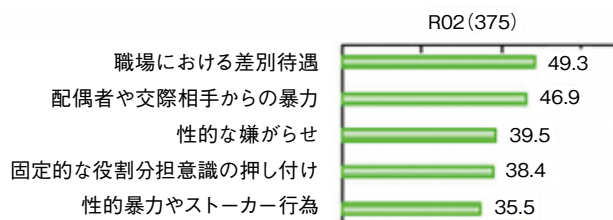
・「無効・無回答」分は掲載省略



## 2 女性や子ども等、個別の人権課題について

**問7 女性に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

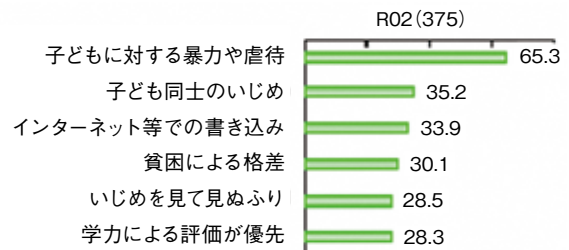
9項目の女性に関する人権上の問題点のうち、「職場における差別待遇」と答えた人が49.3%で最も高く、次いで、「配偶者や交際相手からの暴力」が46.9%、「性的な嫌がらせ」(39.5%)、「固定的な役割分担意識の押し付け」(38.4%)、「性的暴力やストーカー行為」(35.5%)が30%台で続いている。



(上位5位まで)

**問8 子どもに関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

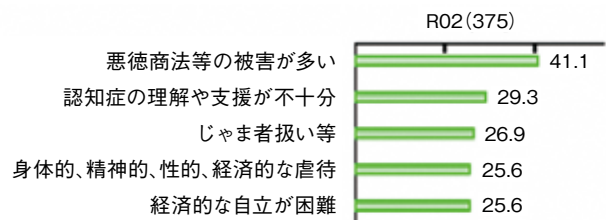
9項目の子どもに関する人権上の問題点のうち、「子どもに対する暴力や虐待」が65.3%で最も高く、「子ども同士のいじめ」（35.2%）、「インターネット等での書き込み」（33.9%）、「貧困による格差」（30.1%）が30%台で続き、「いじめを見て見ぬふり」（28.5%）、「学力による評価が優先」（28.3%）が30%に近い。今回加えられた「児童買春、児童ポルノ」は10.9%であった。



(上位6位まで)

**問9 高齢者に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

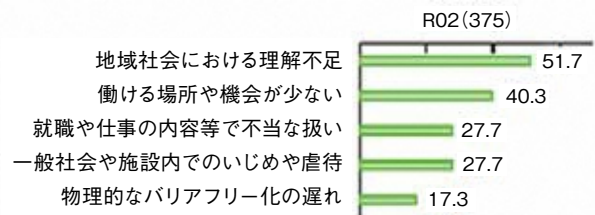
10項目の高齢者に関する人権上の問題点のうち、「悪徳商法等の被害が多い」が41.1%と最も高く、「認知症の理解や支援が不十分」（29.3%）、「じゃま者扱い等」（26.9%）、「身体的、精神的、性的、経済的な虐待」（25.6%）、「経済的な自立が困難」（25.6%）と続いている。



(上位5位まで)

**問10 障害のある人に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

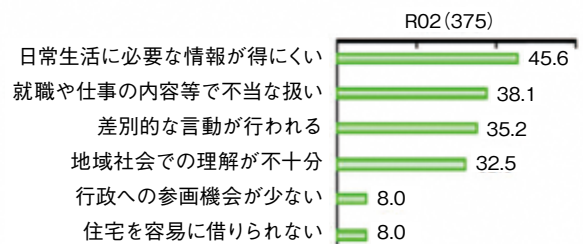
12項目の障害のある人に関する人権上の問題点のうち、「地域社会における理解不足」が51.7%で最も高く、次いで「働ける場所や機会が少ない」が40.3%、「就職や仕事の内容等で不当な扱い」と「一般社会や施設内でのいじめや虐待」とが共に27.7%で、新たに加えられた「物理的なバリアフリー化の遅れ」が17.3%と続いている。



(上位5位まで)

**問11 日本に居住している外国人に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

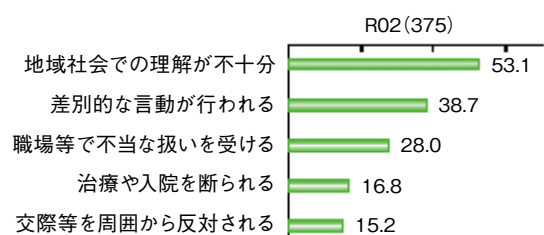
8項目の外国人に関する人権上の問題点のうち、「日常生活に必要な情報が得にくい」が45.6%で最も高く、「就職や仕事の内容等で不当な扱い」が38.1%、今回加えられた「差別的な言動が行われる」が35.2%、「地域社会での理解が不十分」が32.5%で続いている。



(上位5位まで)

**問12 HIV感染者、エイズ患者に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

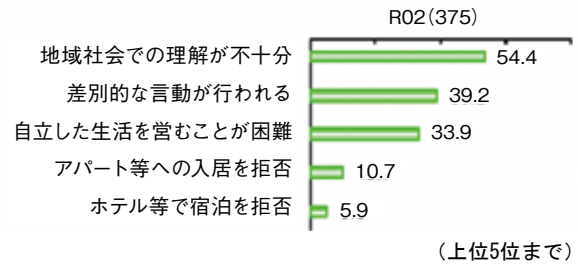
5項目のHIV感染者等に関する人権上の問題点のうち、「地域社会での理解が不十分」が53.1%で最も高く、「差別的な言動が行われる」が38.7%、「就職等で不利な扱いを受ける」が28.0%で続いている。「わからない」が21.3%と高い。



(上位5位まで)

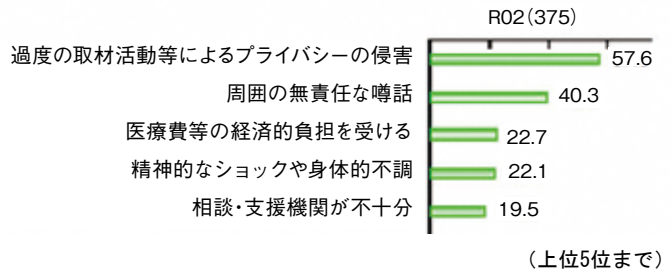
**問 13 ハンセン病回復者等に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

5 項目のハンセン病回復者等に関する人権上の問題点のうち、「地域社会での理解が不十分」が 54.4%で最も高く、「差別的な言動が行われる」が 39.2%、「自立した生活を営むことが困難」が 33.9%で続いている。「わからない」は 28.8%と高い。



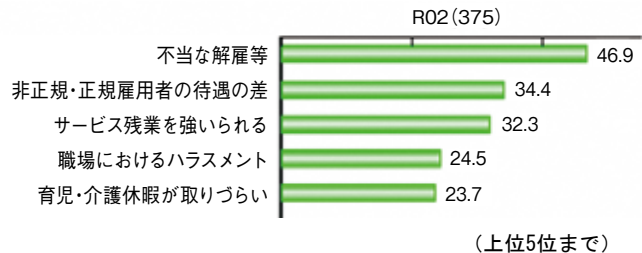
**問 14 犯罪被害者等に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

10 項目の犯罪被害者等に関する人権上の問題点のうち、「過度の取材活動等によるプライバシーの侵害」が 57.6%で最も高く、「周囲の無責任な噂話」が 40.3%、「医療費等の経済的負担を受ける」が 22.7%、「精神的なショックや身体的不調」が 22.1%、「相談・支援機関が不十分」が 19.5%で続いている。



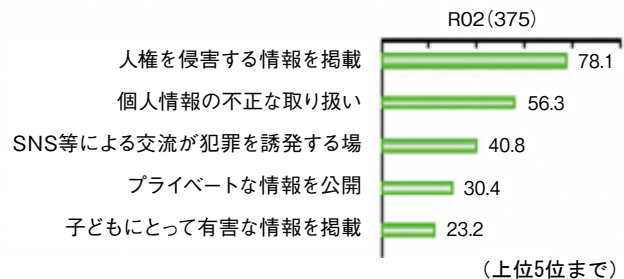
**問 15 労働者に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

9 項目の労働者に関する人権上の問題点のうち、「不当な解雇等」が 46.9%で最も高く、「非正規・正規雇用者の待遇の差」が 34.4%、「サービス残業を強いられる」が 32.3%で続いている。



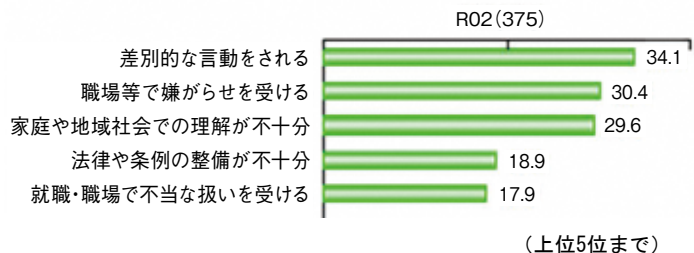
**問 16 インターネットに関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

6 項目のインターネットに関する人権上の問題点のうち、「人権を侵害する情報を掲載」が 78.1%で最も高く、次いで「個人情報の不正な取り扱い」が 56.3%、今回加わった「SNS等による交流が犯罪を誘発する場」が 40.8%で続いている。



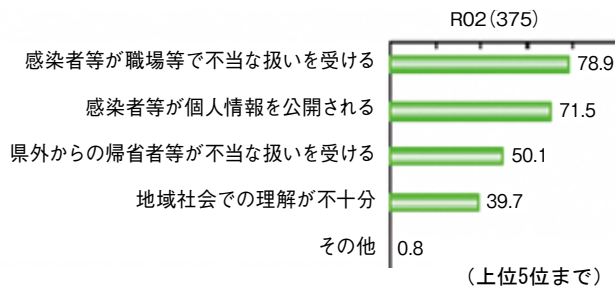
**問 17 性的少数者（性同一性障害、同性愛、両性愛の人など）に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

13 項目の性的少数者に関する人権上の問題点のうち、「差別的な言動をされる」が 34.1%で高く、「職場等で嫌がらせを受ける」が 30.4%、「家庭や地域社会での理解が不十分」が 29.6%で続いている。今回加えられた「性的少数者であることの暴露」は 15.2%で6位であったが、「トイレ等の環境整備が不十分」は 8.8%、「賃貸住宅へ入居が困難」は 2.9%、「不必要な性別記載欄」は 1.9%、「宿泊施設や店舗等の利用を拒否される」は 1.1%と低かった。



**問 18 新型コロナウイルス感染症に関することで、人権上、特に問題があると思うことはどれですか。（回答は3つまで）**

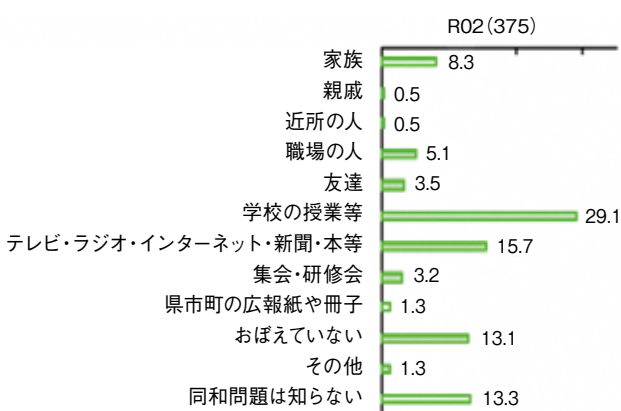
この調査項目は今回新たに設定したもの。  
4項目の新型コロナウイルス感染症に関する人権上の問題点のうち、「感染者等が職場等で不当な扱いを受ける」が78.9%と最も高く、「感染者等が個人情報を公開される」が71.5%、「県外からの帰省者等が不当な扱いを受ける」が50.1%で続いている。



### 3 同和問題（部落差別）について

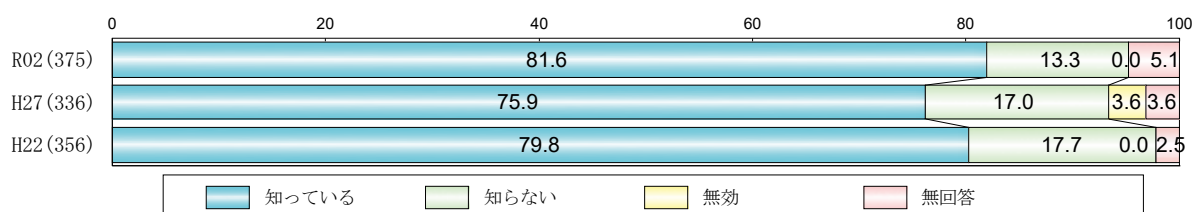
**問 19 あなたが、同和問題（部落差別）について知ったきっかけは、次のどれですか。（回答は1つ）**

10項目の同和問題を認知した方法のうち、「学校の授業等」が29.1%で最も高く、次に「テレビ・ラジオ・インターネット・新聞・本等」の15.7%、「家族」の8.3%と続いている。「おぼえていない」は13.1%、「知らない」は13.3%であった。



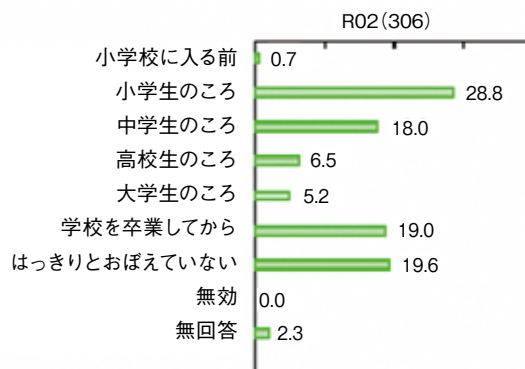
(無回答、無効除く)

**同和問題の認知率**



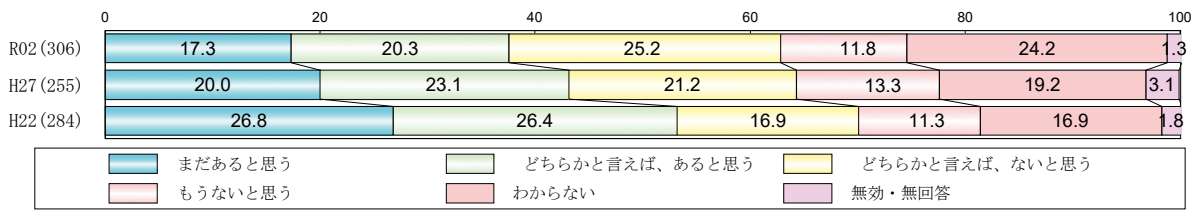
**問 20 同和問題（部落差別）について、初めて知ったのはいつごろですか。（回答は1つ）**

「小学生のころ」が28.8%で最も高く、「はっきりおぼえていない」(19.6%)、「学校を卒業してから」(19.0%)、「中学生のころ」(18.0%)と続いている。



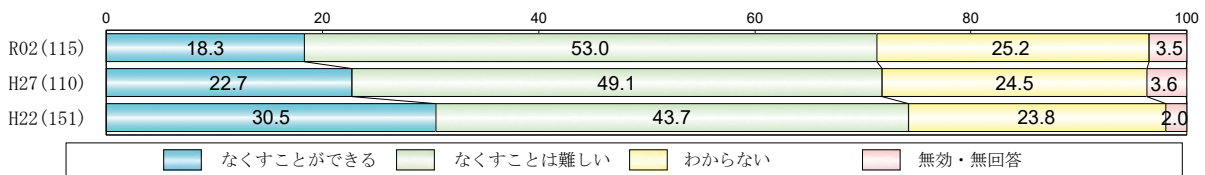


**問 21-1 あなたは、被差別部落（同和地区）への差別意識はまだあると思いますか。（回答は1つ）**



「どちらかと言えば、ないと思う」が25.2%、「わからない」が24.2%と拮抗し、「どちらかと言えば、あると思う」20.3%、「まだあると思う」が17.3%で、「もうないと思う」は11.8%である。  
 「まだあると思う」と「どちらかと言えば、あると思う」の2つを合わせた「ある」は37.6%、「もうないと思う」と「どちらかと言えば、ないと思う」を合わせた「ない」の36.9%とほぼ同じである。

**問 21-2 それは近い将来なくすことができますか。（回答は1つ）**

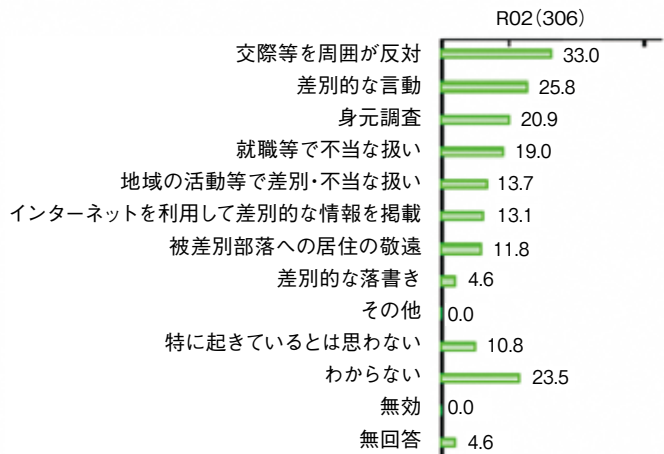


**【問 21-1 で「まだあると思う」または「どちらかと言えば、あると思う」と選んだ人のみ回答】**

「なくすことは難しい」が53.0%で、「なくすことができる」の18.3%より35ポイント高い。  
 前回・前々回と比較すると、「なくすことができる」は前々回30.5%、前回22.7%、今回18.3%と低くなり、逆に「なくすことは難しい」が前々回43.7%、前回49.1%、今回53.0%と高くなっている。「わからない」もやや高くなっている。

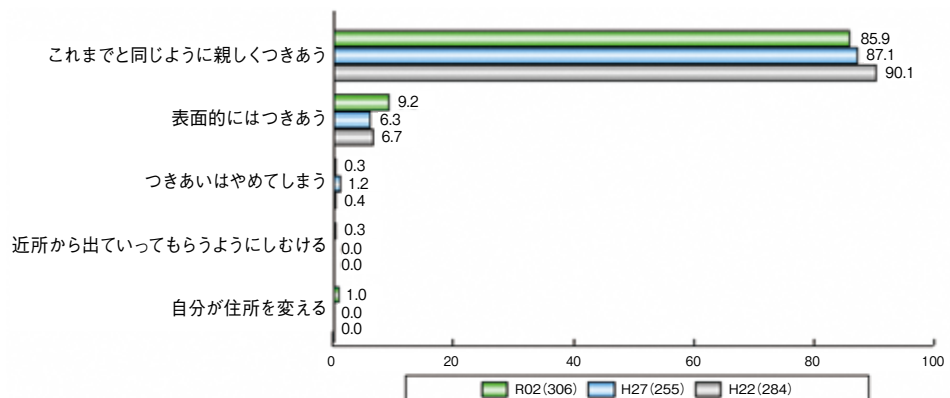
**問 22 あなたは、同和問題（部落差別）に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。（回答は3つまで）**

「交際等を周囲が反対」が33.0%で最も高く、次いで「差別的な言動」「身元調査」が20%台、「就職で不当な扱い」「地域の活動等で差別・不当な扱い」「インターネットを利用して差別的な情報を掲載」「被差別部落への居住の敬遠」の順に10%台で続く。「特に起きているとは思わない」と答えた人が10.8%、また、「わからない」と答えた人も23.5%いた。



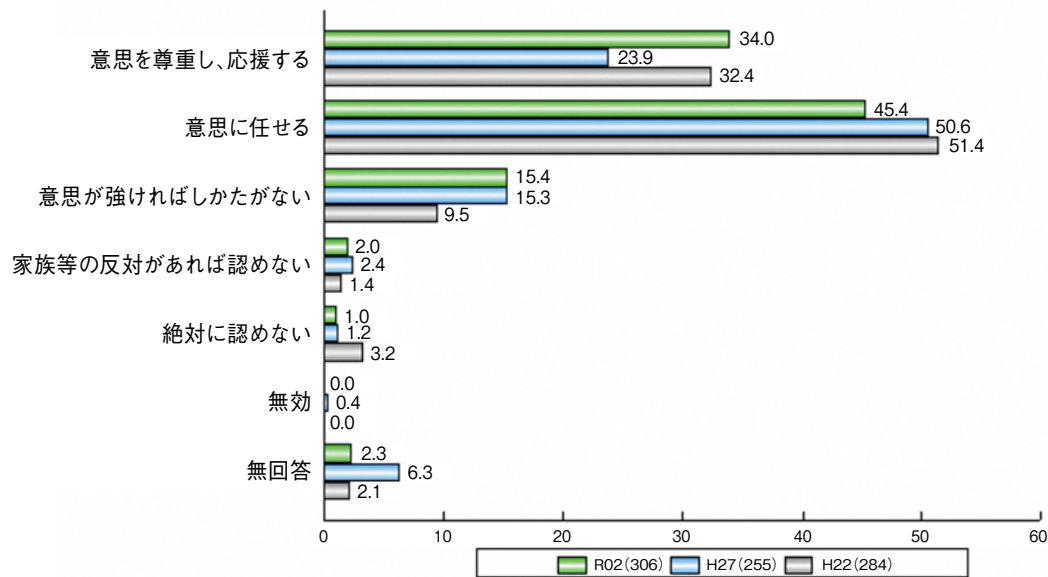
**問 23 仮に、日ごろから親しくつきあっている近所の人が、被差別部落（同和地区）の出身であることを知った場合、あなたはどうしますか。（回答は1つ）**

「これまでと同じように親しくつきあう」が85.9%（263名）で最も高く、「表面的にはつきあう」は9.2%（28名）、「つきあいはやめてしまう」「近所から出ていってもらおうようにしむける」が共に0.3%（1名）、「自分が住所を変える」は1.0%（3名）であった。



（無効、無回答除く）

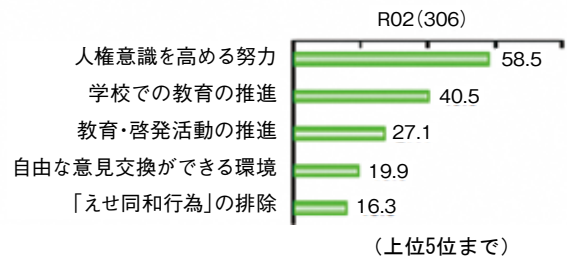
問 24 仮に、あなたにお子さんがいるとして、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落（同和地区）の出身であると知った場合、あなたはどのようにしますか。  
（回答は1つ）



「意思に任せる」が 45.4%（104 名）で最も高く、次いで「意思を尊重し、応援する」が 34.0%（139 名）、「意思が強ければしかたがない」が 15.4%（47 名）となっている。「家族等の反対があれば認めない」（6 名）と「絶対に認めない」（3 名）を合わせた「認めない」は、2.9%（9 名）となる。

問 25 あなたは、同和問題（部落差別）の解決にどのようなことが必要だと思いますか。  
（回答は3つまで）

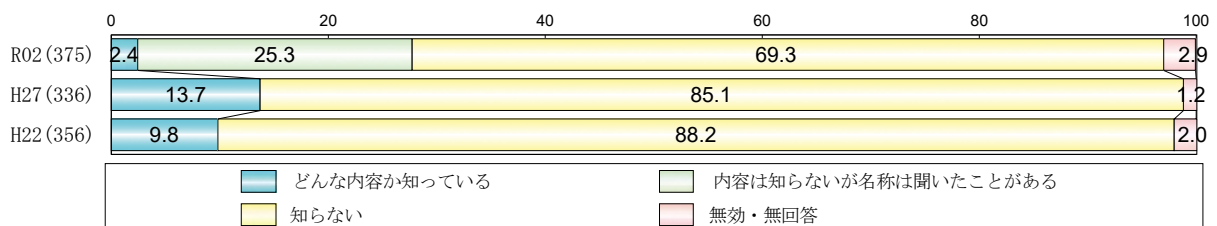
7 項目の同和問題（部落差別）の解決に必要なことのうち、「人権意識を高める努力」が 58.5% で最も高く、今回加えられた「学校での教育の推進」が 40.5%、「教育・啓発活動の推進」が 27.1% で続いているが、他は 10% 台である。



## 4 人権教育・啓発活動の取組について



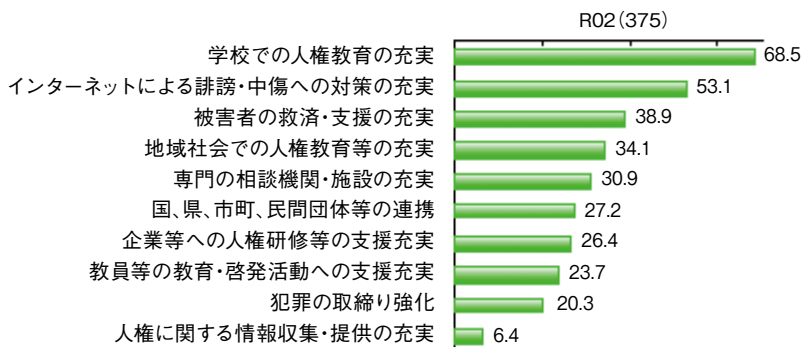
問 26 長崎県では、平成 29 年 3 月に長崎県人権教育・啓発基本計画の第 2 次改訂を行い、これに基づいて人権教育・啓発に取り組んでいます。あなたはこの「長崎県人権教育・啓発基本計画」について、どの程度ご存じですか。（回答は1つ）



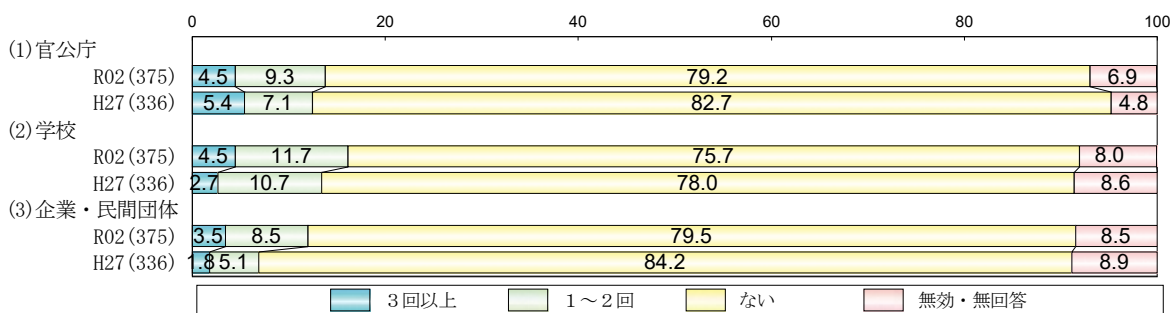
「長崎県人権教育・啓発基本計画」の認知については、「知っている」は 2.4% で、「内容は知らないが名称は聞いたことがある」が 25.3%、「知らない」は 69.3% であった。

**問 27 人権が尊重される社会を実現するためには、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。（回答はいくつでも）**

10 項目の人権尊重のために必要な施策のうち、「学校での人権教育の充実」が 68.5%と最も高く、今回加えられた「インターネットによる誹謗・中傷への対策の充実」が 53.1%で続く。「被害者の救済・支援の充実」「地域社会での人権教育等の充実」「専門の相談機関・施設の充実」が 30%台で続いている。



**問 28 あなたは、人権についての講演会や研修会、イベントなどに、どの程度参加したことがありますか。次の(1)～(3)のそれぞれについてお答えください。（回答は1つずつ）**



「3回以上」と「1～2回」を合わせた「参加したことがある」を前回と比較すると、「企業・民間団体」で5ポイント、「学校」で3ポイント、「官公庁」でも1ポイント高くなっている。

**問 29 あなたは、新聞や雑誌の記事など人権の啓発に関する情報を、どの程度読んだり見聞きしたりしたことがありますか。**

次の(1)～(7)のそれぞれについてお答えください。（回答は1つずつ）

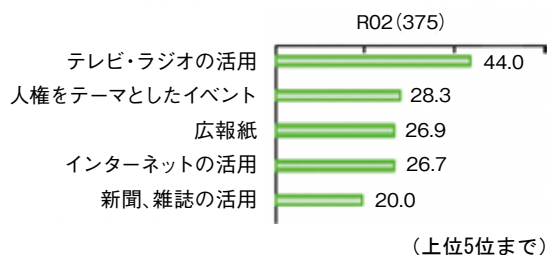
	3回以上 読んだ(見た)	1～2回 読んだ(見た)	合計 (R2)	参考 合計 (H27)
県や市町の広報紙・パンフレット等	14.9%	33.3%	48.2%	46.7%
民間団体の冊子・パンフレット等	5.6%	20.8%	26.4%	29.4%
新聞・雑誌・週刊誌	20.0%	37.1%	57.1%	65.4%
書籍	9.1%	14.1%	23.2%	27.1%
テレビ・ラジオ	24.8%	33.9%	58.7%	62.2%
映画・ビデオ	9.3%	15.7%	25.0%	28.2%
インターネット(ホームページ等)	11.7%	12.5%	24.2%	22.3%

「3回以上」と「1～2回」を合わせた「読んだ(見聞きした)ことがある」は「新聞・雑誌・週刊誌」「テレビ・ラジオ」が60%近くあり、「県や市町の広報紙・パンフレット等」は50%に近い。

前回との比較では、「新聞・雑誌・週刊誌」「書籍」「テレビ・ラジオ」「映画・ビデオ」との接触度は減少傾向にあるが、「インターネット(ホームページ等)」では増加傾向にある。

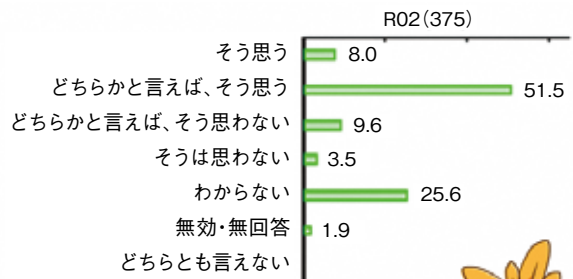
**問 30 あなたは、人権教育・啓発を推進するためには、県や市町によるどのような活動が効果的であると思いますか。（回答は3つまで）**

10 項目の効果的な社会教育・啓発広報活動のうち、「テレビ・ラジオの活用」が44.0%で最も高く、「人権をテーマとしたイベント」「広報紙」「インターネットの活用」「新聞、雑誌の活用」の順で共に20%台で続いている。



**問 31 私たちが住んでいる長崎県は、人権が尊重されている県であると思いますか。（回答は1つ）**

「そう思う」が8.0%、「どちらかと言えば、そう思う」が51.5%、これらを合わせた「思う」は59.5%となる。



## 5 人権問題解決等に関する意見や要望



**問 32 女性や子ども、高齢者、障害のある人、同和問題（部落差別）などの人権問題解決や人権尊重の社会づくりについて、ご意見やご要望がありましたら、下記の欄に自由にお書きください。**

回答者は78人(20.8%)であり、前回のH27調査(22.6%)と比較すると、1.8ポイント低くなっている。ここでは、寄せられた78件の意見・要望の中から特徴的なものを選び、一部抜粋し掲載している。掲載にあたり、誤字、現在はあまり使用されていない漢字表現などは、原文の内容を損ねない範囲で改めている。

○「そういった差別がある」という認識が、差別がなくならない要因の一つでもあると感じる。とはいえ、差別する人間がいる限り人権教育は欠かせない。社会から人権問題がなくなるまで、法律や民間団体の規則などで徹底して改革するべきだと考える。

○色々な人権問題があるが、コロナウイルス感染症に関するうわさ話など、人から人へのうわさが恐ろしいと思うようになった。人の立場に立って相手の気持ちをくみとる教育がなされていないのではないかな。

○人権問題については、現状を知ることから始まると思う。当事者やその家族が声を上げる場、それを広く伝える場が必要だと思う。また、学校での教育が一番大切だと思う。

○一般の人は、いつの間にか人権侵害や差別等で他人を傷つけているのかもしれない。精神的・肉体的、いかなることでも他人を傷つけるのは悪いこと、また犯罪だと認識させることが必要だと思う。

○人権問題の中には、現在意識されていない問題があるのではないかな。そういった問題ほど教育機関で受動的であっても知ってもらえるように、授業、講話等で機会を作るように促していただきたい。

○障害者の人々が安心して働ける社会にしてほしい。発達障害を理解できない人もいる。「どうしてこれくらいのもできないの」「きっと治るよ」とか言われるが傷つく。周りの人の理解やサポートで大きく違う。働きやすい環境を作ってほしい。

○これらの人権問題は、子どもの頃から学校教育でしっかり教育されなければいけないと思う。それも繰り返しの教育が大事で、その教育する教師がきちんと教育されていないと、子ども達は軽んじてしまう。教育者の育成が最も重要だと思う。是非、教育者の育成を教育現場にゆとりがある先生の人員を増やし、子ども達に対応していける現場を作ってほしい。また、ネット社会において誹謗中傷の弊害がおそろしい事も子ども達にしっかり教えてほしい。

○人権を侵害する行為が次には、自分に向かうこともあることや、いかに愚かで格好悪いことをしているのか考える時間をもっと、小学生、中学生で持つべきかと思う。